

導入事例

既存のシステムからデータを出し、Microsoft Excelで帳票などを作成していたが限界があり、思うように情報を確認することができないことが多い

(2011年導入 中国地方 A病院)

膨大な量の医療材料在庫の日別データ（175万件／月）があり、Excelで扱い切れない。使っている医療材料物流システムでは毎月の締めデータ確定処理に時間がかかる上、月次でしかレポートが出力されないため困っていた。

月単位、年単位でのグラフ表示だけでなく、前日までの日別在庫データを確認できるため、締日の朝一番に昨日の在庫情報が俯瞰できるようになり、速報値を用いた在庫把握ができることで、在庫切れを避けながら過剰在庫を抑える効果があった。

医療材料消費データを基にして、診療科別の適正在庫を指標化したいが、医療材料物流システムには診療科別の在庫情報を含まないため分析可能なデータがなく困っていた。

システムの在庫データには診療科の情報を含まないため、消費データを診療科毎に集計し、各医療材料の診療科毎の割合によって、在庫金額をデータマイニングによる分析をしながら按分計算することにより、診療科別の医療材料在庫高をグラフ化できるようになったため、過剰在庫を持っている診療科を知ることができ、部署別、診療科別での適正在庫量の把握および指標化することが可能になった。それまで多かった過剰な補充請求が抑止されるようになり、部署間の材料の貸し借り状況も、消費に基づくデータ分析により判るようになった。

各部署ごとでシステムの運用精度にムラがあることが分かっているが、指標がなく改善ができない。

(2012年試験導入 四国地方 B病院)

医療材料のラベルの運用に関して、部門システムでの実施入力数と医療物流システムでのラベル回収数に差が出ているので調査したい。

ラベル未回収となっている医療材料やラベル未回収の多い部署の特定をするため、部門システムによる実施情報と医療物流システムによるラベル回収情報を組み合わせて可視化。ラベル回収率の良くない部署へ指導を行い、医療材料の経費コストについての経営収支分析の精度が上がった。

複数のシステムからの情報を横断的に情報を確認したい。

(2013年導入 四国地方 C病院)

医療材料と薬剤がそれぞれ違うシステムで管理されているため、医療材料と薬剤の両方を納入している業者の取引高などを確認することができない。

医療材料と薬剤を管理しているシステムの情報を統合集計して、取引額などを集計をグラフ化。部署別診療科別の消費・在庫データなどを、医療材料と薬剤を合わせた金額で横断的、透過的に分析が行えるようになった。取引先との包括契約の取り決め準備に用いたり、院内の経費分析に活用できるようになった。を確認することができない。



バード・アイ

Bird Eye

経営可視化システム

～ 問題・課題を掴め！～

販売:

開発元:

 株式会社DynaxT
ダイナックス ティ

〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 6
TEL : 087-887-8881 FAX : 087-887-8889
URL <http://www.dynaxt.co.jp/>
Email info@dynaxt.co.jp

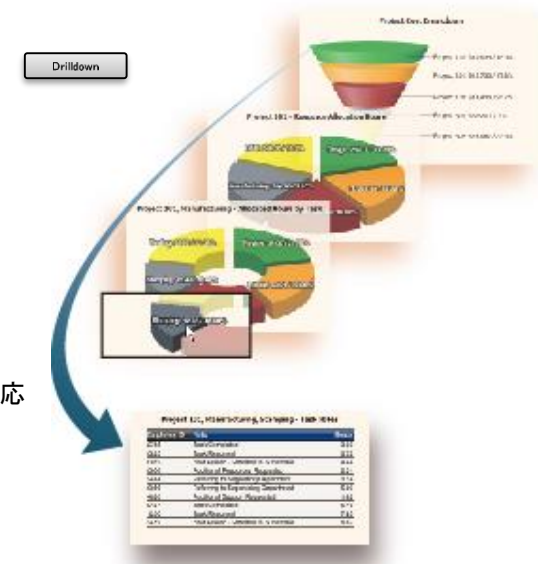
Think Hospitality for Hospital

Think Hospitality for Hospital



B あらゆる情報を、あらゆる角度から見える化します。

- 洗練されたユーザ・インターフェイス**
 - Webベースのグラフィカルなインターフェイス
 - IE、Firefox、Safari、Chrome、全てのブラウザに対応
- リアルタイム性を追求した機能**
 - ロードバランサーによる素早いレスポンス
 - データ取得の任意のインターバルを指定可能(60秒以内)
 - 最新のデータを任意に取得可能
- 多彩なシステムとの連携が可能**
 - 既存のシステムのデータをそのまま利用することが可能
 - Microsoft SQL Server, Oracle, DB2, MySQL, Microsoft Access等に対応
 - 必要なデータを選択し、自由に組み合わせを作ることが可能
 - Single sign-on対応
 - SSL対応
- 柔軟性を重視した機能が充実**
 - 複数のソースデータからの参照が可能
 - 自由な他のシステムやホームページとの連携
 - 任意のパラメータ入力を行うことが可能
 - Flash Widgetsやイメージなどの挿入
 - ExcelなどのSpreadsheetの入出力



ワンクリックで段階的に見たい詳細情報を表示



- 必要なデータが複数のシステムに跨っている
- データ抽出の度に費用が必要
- 取得したデータの整理が大変
- 集計、グラフ作成で他の仕事が手につかない
- 部署によって多様なデータの組み合わせを求められる
- データが最新ではなくなっている
- 本当に欲しいデータではない

- ◆リアルタイムなデータを視覚的に分かりやすく表示
- ◆権限管理によって必要な人に必要なデータを提供
- ◆複数システムから自由に必要なデータを選択
- ◆Webシステムだから必要な場所で必要な時に使用できる



B 希望に応じたデータの組み合わせを行い、多彩なViewのテンプレートをご用意します。

- 部署別医療材料払出金額
- 術式別原価分析
- 診療科別入院実績
- 診療科別入院医業損益

B 多種多様な院内のシステムとの連携を実現します。

